出荷）・在庫数量及び平均単価表

数量・トン、金額・百万円、単価・円　経済産業省統計調べ

販売				在庫量	平均単価	
数量	前年比%	金額	前年比%		単価	前年比%
619	97.6	409	101.9	1,138	661	104.4
2,006	100.8	1,894	102.2	1,759	944	101.5
1,253	101.2	775	109.3	1,739	618	107.9
635	84.4	352	92.9	1,537	554	110.0
2,543	93.0	804	99.1	4,015	316	106.6
3,827	99.2	2,812	105.0	5,273	735	105.9
3,058	97.9	2,172	102.8	5,494	710	105.1
2,503	105.4	2,316	108.9	2,538	925	103.3
9,840	112.8	4,973	117.3	9,016	505	104.0
9,778	102.3	8,509	106.8	12,200	870	104.4
400	89.3	388	93.6	383	971	104.8
1,310	108.5	1,223	114.3	1,125	934	105.3
5,008	92.1	4,406	101.2	5,376	880	109.8
40,155	101.8	28,730	106.9	48,786	715	105.1
17,969	101.8	6,230	106.7	15,904	347	104.8
1,665	89.0	317	93.7	2,528	190	105.2
13,537	108.4	6,529	109.9	9,074	482	101.4
33,171	103.6	13,077	107.9	27,506	394	104.1
3,879	94.5	3,236	98.2	6,423	834	103.9
4,570	95.9	546	96.6	2,601	120	100.8
8,449	95.2	3,782	97.9	9,024	448	102.8
81,775	101.8	45,589	106.4	85,316	557	104.5
8,283	108.7	5,407	114.7	5,985	653	105.5
32,707	99.0	7,802	100.1	6,586	239	101.1
125,390	101.4	61,101	＊106.1	100,784	487	104.6
1,154,508	99.1	561,724	105.4	※101.6	487	106.4

1.4%、製品構成0.4%、単価変動4.2%　※前年同月比

アプライズ
ベトナム人人材支援で上場へ

岩堀克英社長が上場記念撮影

ベトナム人に特化した人材支援サービス事業を展開するアプライズ（東京・岩堀克英社長）は2月20日、東京証券取引所TOKYO PRO Marketに上場。現在、在日ベトナム人（留学生）への派遣・アルバイト紹介サービスにおいて、各顧客の派遣先拠点に自社社員のみの担当者を割り振り、人材募集及び書類収集、シフト管理に取り組んでいる。今回、同業界初の上場により「努力をするまじめなベトナム人」が日本企業に就労できるサポートに一層努めていきたい、としている。

技能実習制度改革の影響もあり、特定技能への転換や留学から特定技能・技術・人文知識・国際業務としての社員採用が進むことが予想されており、様々な書類や各種ビザ申請に関わるデータ等を統合して確認できるシステムサポート体制の構築が必要になると見込まれている。

今回の同社の上場は、業界内での差別化を図ることとなり、収益面での利益率向上が期待される。外国人採用に求められる多くの書類や入職後のサポートをワンストップサービスで提供できるシステム導入や業務効率化、またコンプライアンスに準拠した業務運用など、事業成長のスピードに合わせて事業を充実させていくことになる。

マンション適正管理サポートセンター
100年マンションを実現

マンション適正管理サポートセンター（MTS、小野利行代表理事）は、マンションセミナー『プロポーザル＋総合評価落札方式』で100年マンションを実現！」を1月27日午後1時30分から兵庫県芦屋市呉川町の芦屋市保健福祉センターで開催した。

第一部の基調講演は「マンション政策の最近の動向」について国土交通省から、マンションを取り巻く状況と課題、マンション管理適正化法と建替円滑化法、今後のマンション政策の在り方について説明があった。

第二部の講演「所有者団体としての管理組合～その役割と責務～」について戎正晴氏（MTS副代表、弁護士）は、まず「管理組合」について解説した。構成員は区分所有者のみで、同居の家族や借家人は組合員ではない。区分所有者が自分たちの財産を管理するための団体であり、多数の所有者が一体として所有者責任を果たすための団体であると述べた。

次に3つの区分所有者責任について説明した。

第一は費用負担の責任で、他の区分所有者に対する責任である。第二が「工作物責任」で所有物の設置・管理に瑕疵（過失）があれば、それによって生じた損害を賠償する責任で、周囲の人々に対する責任である。第三の「適正管理責任」は、公に対する責任で特定空家のようなマンションを廃墟にしないこと及び最後は解体することである。

第三部で講演を行う小野利行代表理事

適正管理を怠った事例では、逗子市のケースで建物擁壁が崩壊して通学中の女子高校生が死亡し、区分所有者らが訴えられた。野洲市の場合はマンションの適正管理を全体として怠ったため、街中に巨大な空き家ができてしまった。

適正管理責任（適正化法5条）は戸建て住宅とは異なり、マンションは国の基準で管理する義務があり、廃墟にしない責任（適正化法）と廃墟をなくす責任（円滑化法）がある。

管理組合として適正管理にどう取り組むかについて、戎氏は適正管理の一丁目一番地は適正な定期（大規模）修繕工事であることを強調した。

第三部の「プロポーザル＋総合評価落札方式」について、小野代表理事が説明した。同方式はサポーター（管理組合の意思決定を支援する専門家）が管理組合と共働で進める工事業者選定方式である。複数の工事業者からマンションに合った工事の技術提案をしてもらい、競ってもらう。価格＋価格以外を評価し、落札者を決定する総合評価落札方式であると述べた。

第四部パネルディスカッション「適切な大規模修繕工事を目指して」では、コミュニケーションを大切にした体制作りが、マンションの長寿命化につながると提案があった。

新技術活用システム検討会議（国土交通省）平成27年度推奨技術
トリプル効果でさびを強化
塗布形素地調整軽減剤
サビシャット
DNT 大日本塗料株式会社

インテック日塗
無機系ガラスコーティング剤

インテック日塗（東京・山口知之社長）は、無機系ガラスコーティング剤「GOD」を発売した。

同製品は20年相当の耐候性を有する無機系のコーティング剤。撥水・撥油・汚れ防止効果がある。

特長は、薄膜で強力な被膜を形成するため、金属表面の風合いを損なわない。優れた撥水撥油性能を長期にわたり持続し、メンテナンスが楽。

ステンレスに対しての錆防止効果があり、塩害地域にも採用されている。

工場生産・現場施工どちらでも対応可能で、液剤のみの提供もしている。

仕様は次の通り。

▽名称＝GOD
▽種類・内容量＝液体：25ℓ
▽成分＝アルコシロキサン、その他
▽適応下地＝ステンレス製品（ヘアライン、ブラスト、バイブレーション（干渉縞が発生するため鏡面は除外）、アルミ製品（干渉縞が発生するためメッキ面は除外）、焼き付け塗装

GOD施工方法は次の通り。

①前処理＝エタノール等で汚れ等を拭き取る。
②下準備＝スポンジにマイクロファイバーを巻き付ける。
③塗布＝GODを適量染み込ませ、SUSのヘアラインに沿って塗り伸ばし、ムラにならないように均一に仕上げる。

液量の目安は8g～15g／㎡。

常温乾燥での乾燥目安時間は、5℃～15℃で2～3時間、15℃～25℃で2時間程度、25℃以上で1時間程度。

TEL 03・3893・1463

スマートファクトリーJAPAN
技術力を多業界に応用

日刊工業新聞主催のスマートファクトリーJAPAN、防災産業展2024、グリーンインフラ産業展、国際宇宙産業展の4つの展示会が2月20日から22日までの3日間、東京都江東区有明の東京ビッグサイトで開催された。

今回は、テーマが生産管理と製造現場の先進化と効率化を実現するスマートファクトリーJAPANから、業界の課題解決に資する技術とサービスを取材し、紹介する。

スマートファクトリーJAPANでは、塗料・塗装業界からヒバラコーポレーションが出展。ロボット塗装支援、遠隔オペレーション支援等4つの支援を組み合わせたコンサルティングサービスの工業塗装ライン管理システム「HIPAX（ハイパックス）」を展開し、業界の垣根を超えた設備監視システムの活用方法を提案した。

パーソルクロステクノロジーは、最新鋭の技術とエンジニア人材で支援するサービスを展開。主にドローン開発の受託や活用を推進するための人材サービス等、さまざまな形態でのエンジニアの業務支援が可能である。

SORACOMは、製造業におけるIoTを活用したビジネス課題を解決するサービスを展開している。SIMやデバイスを必要な時、必要な分だけ使いたいサービスの調達が可能で、コストの最適化が図れる。

スカイディスクは、AIとSaaSによる生産スケジューラ「最適ワークス」を開発し、提供している。2022年4月のリリース以来、中堅・中規模工場を中心にさまざまな製造ラインで導入されている。マスター登録をすることで誰でも生産計画を立てることができる。

大晃機械工業は、造船業界で鍛えられたポンプ技術を応用、展開している。船用事業部の他、陸上事業部では発電プラントや化学プラント、半導体製造、EM事業部では医療福祉や健康機器等、多種多様な業界へ、TAIKOブランドの技術力を発展させている。

㊤ヒバラコーポレーションブース

㊦パーソルクロステクノロジーブース

12月の塗料実績
生産・販売数量とも増

は自動車が同109・0%、船舶・構造物が同108・2%、木工が同102・7%、電気・機械・ばいが1社。自動車は14社中プラスが7社、マイナスが7社。船舶・構造物は9社中プラスが6

決定版！
ISBN 978-4-87326-767-8
の化学商品
本：35,000円＋税10%）〒込　◎2024年1月末発売
内容見本

塗料・塗装、コーティング業界の専門誌
塗料報知の5大活用術
購読お申し込みはこちらから